

第6学年 国語科学習指導案

日時 平成21年5月29日(金) 5校時
児童 第6学年 男8名 女12名 計20名
指導者 教諭 田村優子

付きたい読解力	A 文章の要旨をとらえる力。〈説明的な文章の解釈〉 B 筆者の意図に沿って要約する力〈説明的な文章の解釈〉 C 文章についての自分の考えを表現する力〈自分の考えの形成及び交流〉
---------	--

1 単元名 文章を読んで、自分の考えをもとう (光村6年上)
教材名 生き物はつながりの中に

2 単元について

(1) 単元の位置づけ

【低学年の説明文】 順序を追って、正確に読む。



【中学年の説明文】 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。



【高学年の説明文】 「サクラソウとトラマルハナバチ」「千年の釘にいどむ」

- ・筆者の主張は、文章の中に内包されていること。
- ・要旨をとらえ、感想をもつ。

「生き物はつながりの中に」「平和のとりでを築く」

- ・問題の解明を発展させる形で、筆者の考えが最終段落や題名に強く明確に示されている。
- ・自分の考えをもち、発信する。

(2) 教材について

第5学年及び第6学年の説明的文章の読解力として、最も身に付けさせたいことは、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にして読んだりすること。」である。そのためには、筆者の意図や思考を想定しながら文章全体の構成を把握し、自分の考えを明確にしていく必要がある。そこで速読や文章全体を概観しながら拾い読みをする摘読などの活動を取り入れていきたい。

本教材は、「問題提起」「問題の解明」「まとめ・考えの表明」という明快な説明文の構成をもち、最終段落に筆者の主張が明確に示されている。また、ロボットのイヌと本物のイヌとを比較しながら解明していくという展開は、児童にとって大変分かりやすい。さらに、「あなた」という読み手に呼びかけるような言葉を用いることで、自分のこととして考えさせようとしている。筆者の考えを読み取ることにのみとどまらず、自分の考えをもち、生き方に目を向けていくという学習に自ずと取り組むことができる教材であると考えられる。

(3) 児童について

児童は、4年生までの説明文学習で、「順序を追って、正確に読む。」こと、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。」ことを学習してきた。また、5年生の説明文「サクラソウとトラマルハナバチ」「千年の釘に挑む」で、筆者の考えは文章の中にあること、説明文について自分の意見をもつことを学習した。

NRTの結果を見ると「読むこと」の領域は全国平均並で他に比べて大きく落ちていることはないが、筆者の述べていることをふまえて文章を書くことを苦手としている児童が多い。また、段落ごとに中心となる内容をおさえて読むことも不十分である。

6年生では、物語文「カレーライス」の単元で、登場人物の心情の移り変わりを行動の叙述に即して読み取ってきた。書く活動については、登場人物の気持ちが表れている言動にサイドラインを引いたり、視点を変えて書く活動を行ったりしてきた。しかし、読み取りや書くスピードや内容にも個人差が大きく、目的や意図に応じた文を書くのに支援を必要としている児童も多い。また、自分の考えに根拠をあげて発言する力については、大事な言葉を入れて発言できるよう取り組んでおり、それを探そうとする姿勢はついてきているが、的確な根拠をあげることはまだ支援が必要である。

(4) 指導について

本教材文を学習することで、児童に筆者の考えを読み取る方法を学ばせ、それに対する自分の考えを表現する力をつけさせたい。そのために、各段落の要点をつかませ、段落相互のつながりを考えさせたり、要点に言葉を補いながら話したりする活動を通して筆者の主張をとらえさせる。また、最後に最終段落にある投げかけの文を意識し、強く関心をもった事例や考えさせられたことを具体的に述べる文を書くことで活用する力をつけさせたい。

本研究に関しては、単元全体や本時で身につけたい力を明らかにしながら授業を展開していく。また、初発の感想や問題提起に対する答えの部分ワークシートに書き込んだりするなどして、文章構成をとらえるための書く活動や自分の考えを述べる作文を書く活動を通して確かに読み取る力をつけていきたい。

3. 単元の目標

- (1) 筆者の問いかけに関心をもち、すすんで読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
- (2) 筆者がこの文章を通して読者に考えてもらいたいと思っていることをまとめる。 (読むこと イ)
- (3) 筆者の考えについて、自分はどうか考えるかをまとめる。 (読むこと エ)
- (4) 文章全体のおおまかな構成と、部分の役割を理解する。 (言語事項 オ(ア))

4 単元の指導計画 (7時間)

- 〈一次 つかむ〉 1 ・初発の感想について話し合い、おおまかな内容をとらえる。
・新出漢字の読み書きと難語句を調べる。
- 〈二次 見通す〉 2 ・問題提起文をつかむ。
・文章構成をつかみ、学習の見通しを立てる。
- 〈三次 深める〉 3 ・形式段落②～⑦を読み、生き物の特徴のまとめ方を学ぶ。 (本時)
- 4 ・ところどころに人間の話が盛り込まれていることについて、その意図を話し合う。
- 5 ・形式段落⑧の要点をまとめ、この段落の意味を話し合う。
- 〈四次 まとめる〉 6 ・文章全体を要約する。
- 〈五次 広げる〉 7 ・筆者の考えに対する自分の考えをまとめ、文章を書く。
・感想を交流する。

5 本時の指導

- (1) 目 標 文章の内容をとらえ、ロボットとの違いや生き物の特徴を読み取り方がわかる。

本時でつきたい読解力 B 形式段落ごとに要点を書きまとめる力 C まとめたことをもとに発言する力。

(2) 展 開

	学習活動 (○主発問 ・学習内容)	指導上の留意点・(評価方法)
つかむ 5分	1 学習課題を確認し、見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ロボットのイヌと本物のイヌとのちがいを考えながら、生き物の特徴をさぐろう。 </div>	・前時までの学習を想起させながら課題を提示する。 (観察)
見通す 5分	2 学習場面を音読する。(形式段落②～⑦) 3 問題解決の見通しをもつ。 ○形式段落ごとに、「ロボットのイヌ」「生き物(本物のイヌ)」のどちらについて書かれてあるか、確かめましょう。	○違いと特徴は何かを考えながら音読させる。 ・問題提起の段落を確認する。 ○②段落は生き物、③段落はロボットのイヌ、④⑤⑥⑦段落は生き物について書かれてある段落であることを大まかにとらえさせる。 ・文章構成を確認する。 ・主語、述語に着目させる。 (観察)

ふかめる 20分	<p>3 ②、③段落について、短い言葉でまとめる。</p> <p>○中心となる文を見つけ、短い言葉でまとめよう。(学び合い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの視点の3つを使って、実際にワークシートに書きまとめる活動を行う。 	<p>○読み取りの視点を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題提起の文にある重要語句「ちがひ」「生き物特徴」を探すこと。 2 より大きな視点で書かれてある文を探すこと。 3 「このように」「つまり」、繰り返されている文を探すこと。(観察)
	<p>4 ④～⑦段落について、短い言葉でまとめる。(一人学び)</p> <p>○各段落ごとに短い言葉でまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取りの視点の3つを使って、ワークシートに書きまとめる。 	<p>○読み取りの視点をういて探させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式段落全体を読み、3つの視点から大事な言葉を拾い出せるようにする。(ワークシート、観察)
まとめる 15分	<p>5 つかんだことをまとめる。(学び合い)</p> <p>○ワークシートに書いたことを発表しましょう。</p> <p>○ワークシートに書きまとめたことを使って話しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>②生き物は、内と外とで物質のやり取りをしている。</p> <p>③ロボットは、外から電池を入れ、なくなったら交換する。</p> <p>④外から取り入れたものが自分の一部になるのが生き物の特徴。</p> <p>⑤一つの個体として時間をこえてつながっているのが生き物の特徴。</p> <p>⑥生き物は、長い歴史があったから生まれた。</p> <p>⑦つながりこそが、生き物の生き物らしいところ。</p> </div> <p>6 次時の学習内容を知る。</p>	<p>○一人学びでまとめた言葉を発表しあい、④～⑦段落を短くまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの考えが出たときには、問題提起の文や読み取りの視点を確認し、段落の大事な言葉をおさえさせるようにする。(観察・ワークシート) <p>○ワークシートに書きまとめたことを使い、言葉を補ってまとめを話させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ロボットのイヌは～」「生き物は～」 「生き物の特徴です。」という言葉で補うとよいことを示す。(発言)

(3) 具体的評価規準

A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する児童への支援
形式段落内の大事な言葉を見つけ書きまとめ、それをもとに話すことができる。	形式段落内の大事な言葉を見つけ書くことができる。	問題提起の文や読みの視点をもとに、大事な言葉見つけさせる。

(4) 板書

④	③	②	段落
い わ る こ と は な	電 池 が 体 に 変 わ る こ と は な	外 か ら 電 池	ロ ボ ッ ト の イ ヌ
一 部 に な る	外 か ら 取 り 入 れ た も の が 自 分 の	内 と 外 と で 物 質 の や り 取 り	生 き 物 ・ 本 物 の イ ヌ

読み取りの進め方

- ①課題にある「ちがひ」「生き物の特徴」という言葉をさがす。
- ②まとめている文をさがす。
- ③「このように」「つまり」など接続語や、くり返されている言葉をさがす。

生き物はつながりの中に

中村 桂子

一 生き物はつながりの中に 教材分析表

意味 段落	形式 段落	キー ワード	要点	言語事項 (難語句)	構成
1	①	ちが い 特 徴	ロボットのイヌと本物のイヌとの違いは何かを考えながら生き物の特徴をさぐろう。	でし よう み ま し よ う (特 徴)	「初 め」 問 題 提 起
2	②	物 質 の や り と り	生き物は、内と外とで物質のやりとりをしている。	こ の よ う に (呼 吸) (物 質)	「中 1」
	③	ロ ボ ッ ト の イ ヌ	ロボットのイヌは、外から電池を入れ、なくなったら交換する。	で し よ う か (交 換)	
3	④	外 と の つ な が り	外から取り入れたものが自分の一部になるように、外とつながっているのが、生き物の特徴。	そ こ こ こ つ ま り (分 解)	「中 2」
	⑤	時 間 を こ え た つ な が り	変化・成長しながら、時間をこえて、一つの個体としてつながっているのが、生き物の特徴。	一 秒 た り と も く な い で も こ の よ う な (個 体)	
4	⑥	長 い 長 い 生 命 の 歴 史	長い長い生命の歴史があったから生まれたのが生き物。	こ う し て (た ど る) (子 孫)	「中 3」 問 題 解 明 3 過 去 の 生 き 物 と の つ な が り
5	⑦	さ ま ざ ま な つ な が り	さまざまながりの中で生きている生き物。	く と い う よ う に こ そ (過 去)	「終 わり」 ま と め
6	⑧	す て き	自分を大切にすることと他を大切にすることは同じ。生き物として生きていくことはすてきなこと。	そ う 考 え る と か け が え の な い (存 在)	筆 者 の 考 え

二 日常の学校生活における言語活動

- ① 物語や詩を読み、感想を交流し合うこと。
- ② 「はじめ、中、終わり、自分の考え」という文章構成を使って文章を書くこと。
- ③ 筆者の考えに対する自分の意見を持ち、話すこと。